

ディスカウントスー
パーじゃないぞー！



私は
チーム・マイナス6%です

In ツインリンクもてぎ

トライアル世界選手権シリーズの観戦



M副長新聞

昨日のカヌー訓練は雨で順延。誰の影響なのかな？



2009.6.10
第37号

今回は、かなりマニアックネタだ！

本日(6/7)は、『2009 SPEA FIMトライアル世界選手権シリーズ 第4戦ウイダー日本グランプリ』の観戦に、近所の息子友だち父子と【ツインリンクもてぎ】に行って来た。会社関係で招待チケットを貰ったが、購入すると大人5,000円・子供500円と高額である。M副長のMIはイニシャルから取ったのだが、「【Mania】マニア」のMか、「【Monozuki】物好き」のMかとの疑惑が残る。「マニア」と「物好き」の相違点は、マニアは高いお金を出しても見に行くが、物好きは無料チケットだと見に行くことが今回判明した。でも、やはり、かなりの物好きということにはなる。物好き父親2名は、若かりしころバイク(ガンマ・CBR)に乗っていたので観戦中は、熱く血が騒いだのであるが、子供らは、小一時間で飽きてしまったようだ。スカウト運動に何の関係があるか？技能章に「自動車章」や「パワーポート(エンジン付きポートなど)章」があり、まあ、何事にもチャレンジすることが必要なのであろう(苦しいこじ付け)。今年度M副長は、本人が知らないうちに、船舶免許を持っているということだけで、茨城県連「パワーポート章」の技能考査委員(県連で一人だけ)になってしまった。この技能章を取りたければ16歳以上で、水泳章と取得し、船舶免許(費用は約10万円)を取得してから、電話して来な！と結構困難な章である。

トライアル競技とは、簡単に説明すると、ほとんどが立ったまま乗るので、シートは省略され、ガソリンタンクは小型化し、軽量化(250ccで72kg)されたバイクで、エンジンをブンブンで岩や丸太などの障害物を越えたり、山の斜面や岩山を駆け上る競技である。この際足を着いた回数分が減点となり、バイクから降りて両足を着いたら失格となるのだが、かなり説明が難しい。自然の中でブンブンとは、環境問題的には良くないであろうが、実際に見ないとこの迫力感は、分かんねーだろうな？M副長新聞の第36号で紹介したミントオイル(ハッカ油)でミントスプレーを作り、持ち歩いたが暑い中で「シュツ」とするとひんやりして心地よかったぞ！



さっそく、HONDAのトライアルバイクにまたがり、その気になっている。右写真は、100ccのレーシングバイク。



レーシングコース内に、設けられたパドック。ここでバイクのメンテナンスやライダーが休憩する。でも遠くて良く見えない。奥の別コースではフォーミュラカーの練習をした。コースが2つあるのでツインリンクなのだ。





ドイツのチェーンソーなどのメーカー「STIHL」社のチェーンソーカービングコーナー。日本人世界チャンピオンが技を披露。



「オー・ノー！」1本の丸太から削り出した「オノ」と「リス」である。かなりの腕だ！



以前から狙っていた「チェーンソー」が、安くで売っていたので購入した。これで木を切って薪を作れるぞ？でも単三電池3本使用で、刃はゴム製なのだ。



チーム:「ジェーソン」に仲間入り・

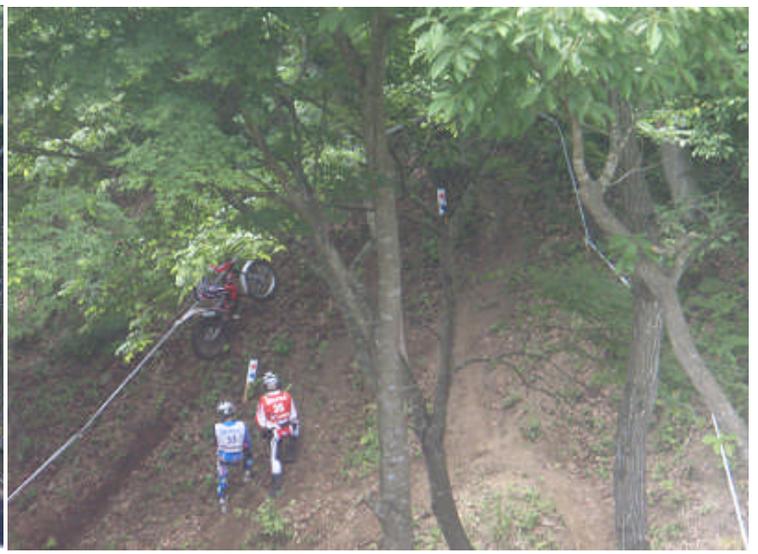


こんな、岩場や丸太も、ひとつ飛び！まるで、岩飛びペンギンかカエルのようなのである。かなりのバランス感覚が要求される。

左下写真の若花田に似ている緑色のジャンパーの人は係員である。



今回のミントスプレーの費用は
 ミントオイル: 1夏分はありそうだ。450円(イズミヤの薬局)
 焼きミョウバン: 30年分ぐらいはありそう。98円(イズミヤ)
 スプレーボトル: ダイソー。105円
 ミントオイルを数的垂らし、ニョウバンを微量。あとは、水道水を入れてシャカ・シャカで出来上がり。但し、残念ながら飲むことはできない。



ブーン！・ブ・ブーンと岩のある斜面や、ぬかるんだドロドロの斜面も岩のゴツゴツした斜面もフルスロットルで駆け昇るだ。で、誰が優勝したかって、途中で帰ったから、詳細は不明。たぶん、優勝は外人さんで、2位が日本人で、3位は分からない。ネットで結果を調べれば良いのだが、まあ、この程度が「マニア」でなく「物好き」のレベルである。今回の、戦利品は、会場内での「ウォークラリー」走破で貰った良一く冷えたウィーダーinゼリー1袋と、HONDAとYAMAHAの応援用フラッグとウチワ3種類であった。手ぶらでは帰らないM副長なのだ。子供たちの感想は、次からどこにも連れて行って貰えなくなるので、表向きは「楽しかった！」で、本音は「最初は面白かったそうだが、バイクだけ見るのはつまんなかった」そうだ。当日は、6時半出発のため、帰りの車中では爆睡だ。途中「道の駅 かつら」で、那珂川の清流と関東の嵐山と呼ばれる景色を眺めながら一休み。川沿いは、なかなか良い無料のテントサイトになっていた。

ここからは、ボーイ隊長からの田んぼ情報



写真1

稲は、見事にクネクネと列が曲がっているが、成育は順調であるようだ。大きいほうのオタマンは、たぶん茨城なのになぜだか「トウキョウダルマガエル」であろう。下の写真は、間違いなくミジンコであると思われる。



写真2

ゼリーの空きカップ



写真3

以下 ボーイ隊長からの連絡文

写真1は、苗の様子:すくすくと育っている。ついでに雑草も育っている。第一回目の草取りが必要であろう時期。写真2は、オタマジャクシの様子:画面下にいる小さいのがシュレーゲルであろう。顔が四角い。で、上にいるでかいのはなんじゃろか?後ろ足が生えている。トノサマガエル系と思われるが、成人しないと判らんよねー。写真3は、水中の微生物:画面中の米粒のようなものが激しく運動している。写真は×5のルーペ装着にて撮影。が、よくワカラン。×100のルーペで観察したところ、視野が狭すぎてよけいにワカランかった。ミジンコであろうか?ここには映っていない、線虫らしきもの、もいた。尚、今回ボーイ隊長が使用した観察用具は次のとおりである。①百均のザル・②ゼリーの空きカップ(オタマを入れた容器)・③発泡スチロールの食品トレー・④ルーペ(Vixen製×3-4-5の組品)・⑤Y将軍から永久貸与したデジカメPanasonic 100×、(型:FF-394?)だそうだ。何事も創意工夫なのだ!